

金曜日 音楽療法



K音楽療法士



白十字八国苑開設二十五周年おめでとうございます。

八国苑で音楽療法を始めて十六年、先ずは利用者の皆様と共に私自身成長させて頂いたことに深く感謝申し上げます。

私が音楽療法を開始する時にはすでに八国苑では作業療法、言語療法が実施されていました。(その頃はまだ一般的ではなかった)

そして前、藤井施設長から「音楽療法という新しい風を吹き込んで下さい。」と言われ身の引き締る思いをしたことを覚えています。

音楽療法を始めたものの今とは違って男性の皆さんは受動的な参加でした。ただ私が持参した二台の太鼓は自発的に叩いて頂けました。その状況から二台の太鼓を順番に叩くのではなく参加者全員で太鼓の演奏をすることを目標に決めました。当然のことですが全員の太鼓を用意しなければなりません。そこで考え出したのが缶太鼓。深さのあるクッキーやお煎餅の空き缶に幅広の綿テープを巻き太鼓としました。バチは百円ショップの麺棒。叩いてみたらこれがなかなかの代物でした。

早速、八国苑の職員に協力を依頼したところすぐに人数分の缶太鼓ができ上がりました。

全員での缶太鼓の演奏によって次第に受動的音楽療法から能動的音楽療法に変化していきました。

ほどなく八国苑からも太鼓を最初は五台、次年度には十台と段々と増やして頂きついに全員で太鼓演奏ができるようになりました。

太鼓は打つ人を選ばない寛容で間口の広い楽器です。
このような経緯から八国シンフォニーは太鼓演奏を核として毎週金曜日の午後、参加される皆様の熱心なそして真剣な姿勢に時に圧倒されながら楽しくセッションを実施しています。

“あるがままに、”
最後に白十字八国苑の益々のご活躍とご発展を心から祈念いたします。



M音楽療法士

創立二十五周年おめでとうございます。

八国苑では、早い時期から音楽療法を取り入れていたと聞いています。週に数回音楽療法が展開されている施設は、数少ないのではないのでしょうか。利用者様のレベルの高い音楽性に、毎回気が引き締まる思いです。

これからも、利用者様の目線で物事を見、利用者様の話に耳を傾け、利用者様の心で感じることを目指し、セッションを行っていきたいと考えています。

